

# 平成22年度目黒区予算案プレス発表資料

区民の暮らしを守り支え、

明るい未来を築く予算



平成22年2月3日 目黒区

# 目次

## 平成 22 年度目黒区予算案の概要 ～区民の暮らしを守り支え、明るい未来を築く予算～

- 01 基本的考え方
- 01 財政状況と予算編成方針
- 02 予算規模
- 03 一般会計予算の概要
- 05 グラフで見る平成 22 年度予算案の特徴

## 暮らしサポート 22 ～区民の暮らしを支える緊急経済対策～

- 08 区内中小企業等支援策
- 09 生活支援策

## 平成 22 年度の重点的な取組み

### 地域の安全・安心の確保

- 11 生活安全パトロール委託の充実・強化 ～パトロールカーを白黒に！～
- 12 地域防災力の向上 ～災害時要援護者を地域で支援～
- 13 民間建築物の耐震化促進

### 暮らしのセーフティネットの充実

#### すべての子どもの育ち・遊び・学びを支援する社会づくり

- 14 ティーンズフェスタ・イン・メグロ 2010
- 15 中央町児童館の運営 ～中高生が利用しやすい児童館～
- 16 子ども世論調査の実施
- 17 保育所の整備（新設）
- 18 学力向上のための放課後学習の実施 ～中学校に指導員を配置～
- 19 スクールソーシャルワーカーの活用
- 20 小中学生「自然宿泊体験教室」  
～7月開設の興津自然学園（仮称）などで～
- 21 健康教室事業の拡充（興津キャンプ）

#### 健康で生きがいをもって暮らせる長寿安心社会づくり

- 22 ヒブワクチン予防接種助成
- 23 第四特別養護老人ホームの整備
- 24 福祉工房の整備

#### 地域における支え合いの基盤づくり

- 25 介護者支援の推進 ～介護者の会を立上げ～
- 26 認知症対策の推進 ～見守り・支える人を育成～
- 27 高齢者見守りネットワークの拡充

## 目次

- 28 高齢者見守り事業の実施
- 29 地域包括支援センターの充実

### 地球温暖化防止と快適な住環境の保全・形成

#### 低炭素・資源循環型社会づくり

- 30 資源とごみを正しく出そう！～集合住宅の単身者、子どもたちへの啓発～
- 31 集団回収の支援強化
- 32 めぐる買い物ルールの特典
- 33 商店街街路灯のLED化支援事業
- 34 「めぐろの森」（仮称）創設  
～温暖化対策事業を友好都市「角田市」で～
- 35 不用園芸土の回収と再生  
～めぐろブラン土「花再彩（仮称）」循環の仕組み～

#### 住みやすさを実感できる住環境づくり

- 36 自然環境の保全と回復 ～区民による身近な生物調査～
- 37 自由が丘駅周辺地区の整備

### 地域特性を生かした目黒らしさのある取り組み

- 38 駒場公園の旧前田侯爵邸保存・修復
- 39 戦史（平和）資料の収集・保存・展示
- 40 観光まちづくり事業の実施
- 41 観光リーディングプロジェクト

# 平成22年度目黒区予算案の概要

## 1 基本的考え方

平成22年度予算は

### 「区民の暮らしを守り支え、明るい未来を築く予算」

と位置づけ、次の点を基本に編成しました。

- 1 景気が低迷を続ける中、緊急経済対策など施策の迅速かつ適切な対応により、区民の暮らしを守り支えることで、区民の生活不安を払拭し地域の活力を創造する。
- 2 歳入の確実な確保と行財政改革の徹底により、新たな基本計画・実施計画の着実な実施と重要課題への対応を図りながら、中長期的な景気変動にも耐え得る財政基盤を確保する。

## 2 財政状況と予算編成方針

一昨年9月に米国で発生した金融危機を発端として世界的規模で不況が拡大する中で、わが国経済はかつてない「速さ」と「深さ」で落ち込み、国民生活や事業活動に大きな影響をもたらしています。現時点での国による景気の基調判断では、持ち直し傾向が続くことが期待されていますが、雇用情勢の一層の悪化や海外景気の下振れ懸念、デフレの影響などのリスクがあり、依然として厳しい状況が続いています。

### ■ 緊急経済対策「暮らしサポート22」

本区では、こうした状況に対応するため、一昨年末に緊急経済対策本部を設置し、「暮らしサポート21」としてこれまで4度にわたる緊急経済対策を策定し、総額18億円余の対応を取ってきたところです。引き続き22年度においても16億円余の緊急経済対策を「暮らしサポート22」として予算案に計上しています。

### ■ 歳入の落ち込みを基金活用で

区の財政状況も22年度においては、特別区税が21年度当初予算に比べ12億円余の減収が見込まれるとともに、特別区交付金も12億円余の減の計上となるなど、歳入に大きな落ち込みを見込んでいます。21年度当初予算に引き続き財源不足が生じたため、20億円余の基金取り崩しによる財源対策を行っています。

### ■ 重要課題への取組み

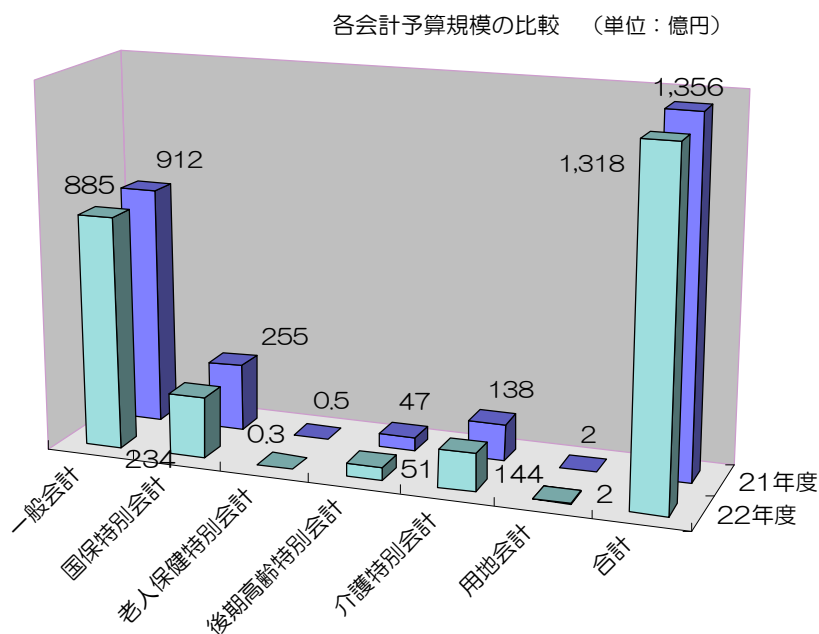
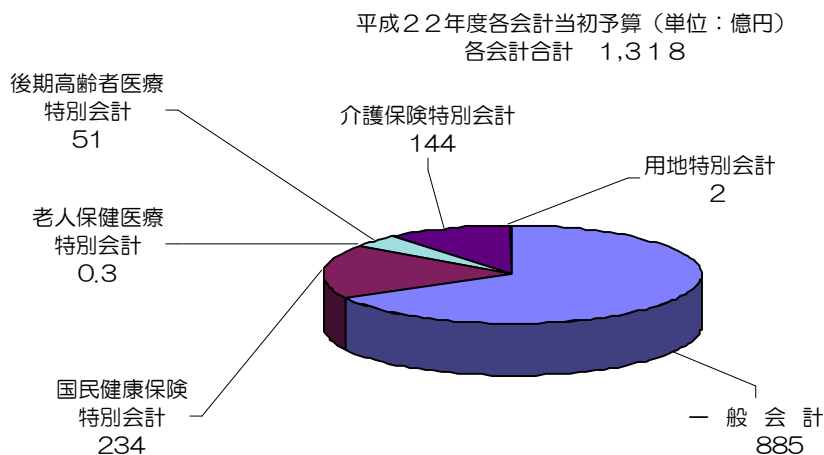
厳しい財政状況の中、改定実施計画への着実な対応を図るとともに、行財政運営基本方針で定めた4つの重要課題である「地域の安全・安心の確保」、「暮らしのセーフティネットの充実」、「地球温暖化防止と快適な住環境の保全・形成」、「地域特性を生かした目黒らしさのある取り組み」への対応を積極的に進めることで「住みたいまち、住み続けたいまち目黒」の実現を目指します。

編成にあたっては、枠配分方式を継続することで、一般財源ベースによる予算の総額管理を行

い、計画的な編成を徹底し、予算を重点的・効率的に配分することにより、総体としての区民福祉の向上を図るものとしています。

### 3 予算規模

- 一般会計 885 億円余。前年度比 2.9%、26 億円余の減。
- 国民健康保険特別会計 234 億円余。共同事業拠出金の減などにより、前年度比 8.4%の減。
- 老人保健医療特別会計 3 千万円余。対象医療費の減などにより、前年度比 33.9%の減。
- 後期高齢者医療特別会計 51 億円余。広域連合納付金の増などにより、前年度比 7.0%の増。
- 介護保険特別会計 144 億円余。保険給付費の増などにより、前年度比 4.8%の増。
- 用地特別会計 2 億円余。前年度とほぼ同じ。



## 予 算 規 模

単位：千円

会 計 区 分	平成22年度	平成21年度	増減額	増減率
一 般 会 計	88,577,058	91,229,835	△2,652,777	△2.9%
特 別 会 計	43,260,833	44,429,385	△1,168,552	△2.6%
国民健康保険特別会計	23,402,651	25,547,390	△2,144,739	△8.4%
老人保健医療特別会計	35,422	53,568	△18,146	△33.9%
後期高齢者医療特別会計	5,131,481	4,793,701	337,780	7.0%
介護保険特別会計	14,475,284	13,815,730	659,554	4.8%
用地特別会計	215,995	218,996	△3,001	△1.4%
合 計	131,837,891	135,659,220	△3,821,329	△2.8%

## 4 一般会計予算の概要

### (1) 財政規模

一般会計の歳入歳出予算は、資料1（1ページ）のとおりです。

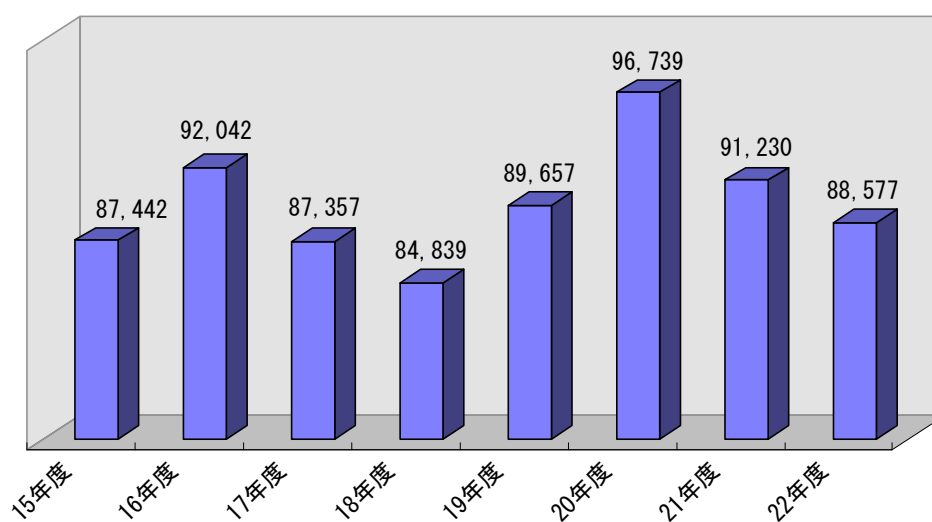
一般会計の財政規模の推移は、次表のとおりです。

#### ◎財政規模の推移

単位：百万円、%

	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
財政規模	87,442	92,042	87,357	84,839	89,657	96,739	91,230	88,577
伸び率	△21.1	5.3	△5.1	△2.9	5.7	7.9	△5.7	△2.9

財政規模の推移（単位：百万円）



## (2) 歳入

- 区税収入は399億円余で、前年度比3.1%、12億円余の減額となっています。
- 都区財政調整に基づく特別区交付金は、財源である市町村民税法人分が大幅減となったことを反映して、本区への交付金については、7.9%、12億円余の減となっています。
- その他の一般財源では、利子割交付金が4億円余、地方消費税交付金が3億円余、配当割交付金が2億円余などいずれも都税収入の見込みを反映して減となっています。株式等譲渡所得割交付金は、株価回復を見込み微増となっています。地方特例交付金は、特別交付金の制度終了により減となっています。
- 国庫支出金は、子ども手当支給などに伴い19.9%、15億円余の増、都支出金は、児童手当の対象拡大などにより11.9%、4億円余の増となっています。
- 特別区債は、11.8%、1億円余の増となっています。

### ◎歳入伸び率の推移

単位：%

	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
区税収入 (構成比)	0.6 (40.3)	2.2 (39.2)	△ 1.7 (40.5)	8.8 (45.4)	3.1 (44.3)	6.8 (43.8)	△ 2.7 (45.2)	△ 3.1 (45.1)
税外収入 (構成比)	△ 29.7 (56.6)	△ 7.2 (49.8)	△ 2.2 (51.5)	△ 2.9 (51.4)	10.6 (53.8)	4.9 (52.4)	△ 3.4 (53.6)	△ 3.0 (53.5)
特別区債 (構成比)	△ 49.7 (3.1)	274.3 (11.0)	△ 30.4 (8.0)	△ 61.6 (3.2)	△ 37.3 (1.9)	120.0 (3.8)	△ 70.8 (1.2)	11.8 (1.4)

## (3) 歳出

- 既定経費は740億円余で、給与改定、一般事務事業の見直しなどにより前年度比2.0%、14億円余の減となっています。既定経費のうち人件費は229億円余で、前年度比3.5%、8億円余の減となっています。
- レベルアップ経費は、前年度の日本脳炎予防接種経費の既定化などにより53.2%減の4千万円余となりました。
- 新規経費は、子ども手当支給などにより328.4%、29億円余の大幅増で38億円余となっています。
- 臨時経費は、106億円余で、前年度の上目黒一丁目市街地再開発、目黒本町障害福祉施設(仮称)建設など投資的経費の減などにより27.6%、40億円余の減となっています。